

TOHO シネマズ スタッフユニフォームを刷新

～自分らしく楽しむ働き方がお客様の笑顔をつくる～

TOHOシネマズ株式会社は、株式会社オンワードコーポレートデザイン（本社：東京都千代田区 代表取締役社長：村上 哲）に新ユニフォーム製作を依頼し、全国に展開する71の直営映画館で勤務するアルバイトスタッフのユニフォームを2003年に社名を変更して以来、22年ぶりに刷新し、2025年7月より、新しいユニフォームを着用。気持ちも新たに全国の劇場にてお客様をお迎えしています。

▼2025年7月18日から着用の新ユニフォーム



■デザインコンセプト

スタッフの個性も活かし自分らしく働くことで、今まで以上にポジティブに楽しみながら劇場での業務に取り組んでもらえるユニフォームづくりを目指しました。

■ポイント

①私服と組み合わせる“上着のみ”のユニフォーム

新ユニフォームは、従来の「シャツ+スラックスの上下セット」から、私服と自由に組み合わせ着用できる「ブルゾン（上着のみ）タイプ」に変更しました。

2024年7月から髪色の自由化も実施しており、スタッフの個性を尊重しながら、多様な働き方にも対応できる柔軟なスタイルになりました。

②ジェンダーレスデザインと高機能素材

時代の価値観の変化にあわせ、性別にとらわれないジェンダーレスなシルエットを採用し、すべてのスタッフが快適に働けるデザインに。また、生地はポリエステル100%の高機能素材を採用。軽量でストレッチ性に優れ、長時間の着用でも快適さを保ちつつ、さらに速乾性・イージーケア性にも優れており、日々のメンテナンス負担も軽減。現場で働くスタッフの声に応え、実用性と快適性を兼ね備えています。



③セレクトショップ「SHIPS」監修

幅広い世代に親しまれているセレクトショップ「SHIPS」監修のもと、様々な髪色や服装ともマッチしやすい「ネイビーカラー」を基調とした新ユニフォーム。シンプルなデザインの中に、コーポレートカラーのオリジナルテープ、またオリジナル織りネームやトリミングを施すことで洗練された印象を演出。スタッフのモチベーション向上とリクルート効果も期待できます。



④環境への配慮

役目を終えた旧ユニフォームは、地球の資源へとリサイクルするために、循環型リサイクル「BRING UNIFORM™」を採用することでSDGsにも貢献いたします。 ※BRING UNIFORM™は、使用済みとなったユニフォームを適正に回収、処理するとともに、地球の資源にリサイクルし、再び市場に循環させることを目指しています。

